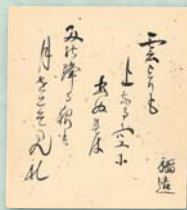


花巻歴史探訪 [郷土ゆかりの文化財編]

Trace the history of Hanamaki



(上)新渡戸稲造生誕150年顕彰碑
(右)安野稲荷神社の関係者に贈られたとされる「月の歌」の色紙



新渡戸稲造が好んだ 和歌「月の歌」

高大な思想を身近な言行に移すことの大切さを表した歌

◆問い合わせ
花巻新渡戸記念館 ☎31-2120

「雲よりも上なる空に出てぬれば
雨の降る夜も月をこそ見れ」
新渡戸稲造が好んだこの和歌(月の歌)は、「足元に気を付け常識をわきまえながら、高大な思想を身近な言行に移すことの大切さ」を表しています。

稲造は「月の歌」を自身の著書『一日一言』と『東西相触れて』に記したほか、新渡戸家の氏神・安野稲荷神社の関係者に色紙で寄贈したといわれています。

『一日一言』は、稲造の助けとなった格言を集めたもので、大正4(1915)年に実業之日本社から発行されました。84版を重ね、大正時代のベストセラーになったこの本では、主に日本人の儒学者や思想家、武将、皇族など100人以上、400首以上の和歌などを引用。366日分の格言が簡潔な文章で記述されています。

もう1冊の『東西相触れて』は稲造の国際連盟事務次長時代の西洋見聞録的な内容を50話で構成。昭和3(1928)年、実業之日本社から発行されました。稲造は第1章の中で「個人としても国民としても自ら悪意や疑心で暗雲を立て、東西の方角までも不確かにしてしまふの比べ、善意と友情によって碧空に雲影を止めない所まで昇ることが大切である」とし「月の歌」を記述しています。

平成25年、稲造生誕150年を記念し、花巻城三の丸公園に顕彰碑が建てられました。顕彰碑には、稲造の偉業などと共に「月の歌」が刻まれています。

花巻市 8月のデータ (8月31日現在)

■人 口=96,310人(男45,830人、女50,480人)
■世 帯 数=37,310世帯
○前年同期
人 口=97,240人(男46,253人、女50,987人)
世 帯 数=37,005世帯
※人口・世帯数について詳しくは、本館市民登録課
(☎24-2111内線408)へ

8月(本年累計・前年同期累計比)

■交通事故=人身事故	27件(106件・-9件)
死 者	2人(4人・-1人)
負 傷 者	35人(129人・-3人)
■火 災=火災件数	4件(35件・+1件)
焼 死 者	0人(4人・+2人)
■救急活動=出動件数	397件(2,760件・+166件)
搬送人員	372人(2,482人・+126人)

広報
はなまき
Public Relations Magazine

一次回一
10月1日発行予定

No.293 平成30年(2018)9月15日発行
【毎月1日・15日発行】
発行●花巻市 〒025-8601 岩手県花巻市花巻町9番30号
☎0198-24-2111
編集●総合政策部秘書政策課
印刷●川嶋印刷株式会社

●花巻市ホームページアドレス
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp>
●花巻市公式フェイスブック
<https://www.facebook.com/city.hanamaki>
●花巻市公式ツイッター
https://twitter.com/city_hanamaki

